

令和3年度執行事務事業

施策名	基本事業	番号	事務事業名
個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現	男女共同参画の意識づくりの推進	1	男女共同参画啓発事業
		2	男女共同参画ネットワークさの支援事業
		3	男女共同参画審議会運営事業
		4	男女共同参画相談事業

事務事業名		男女共同参画啓発事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)				
政策体系	基本目標	7 市民参加による自立したまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課			
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	男女共同参画係	担当課長名	鈴木弘子				
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業					
	基本事業	2 男女共同参画の意識づくりの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業					
	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
予算科目	2072	一般	2	1	16	男女共同参画啓発事業					任意的事業・義務的事業		任意的事業	
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H12年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市男女共同参画推進条例					実施方法		直営	
											事業分類		講座・教室・イベント等開催事業	
											リーディングプロジェクト		該当なし	
											市長市政公約			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和3年度実績(令和3年度に行った主な活動内容)				
男女共同参画社会の実現に関する市民理解を高めるため、講演会・講座の開催、広報による啓発や情報紙の発行、小学生の標語・作文の募集、男女共同参画推進事業者表彰、職員研修会の開催等あらゆる層に対し様々な手法で啓発を図る。 ※地域指導者研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		講演会等 6回 ・DV対策庁内連絡会議(7/15) ・女性の防災講座(10/28) ・男性の育児・家事講座(10/29) ・男女共同参画講演会(2/5 オンライン) ・職員研修(2/21予定→コロナのため資料配付) ・事業所研修会(3/22) 啓発事業 12回 ・男女共同参画推進事業者表彰(11/16 3社) ・広報の掲載 2回(6月号・特集ページ、11月号・女性に対する暴力をなくす運動) ・情報紙バレット発行 2回(8月、3月) ・小学生の標語作文の募集 ・男女共同参画週間(6/23～29)の啓発 ・DV対策月間(11月)の啓発 ・防災パンフレット発行 ・SNSにおける啓発3回				
活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
講演会等の啓発活動の実施回数	回	17	14	10	8	6
啓発事業の実施回数	回	4	4	3	0	12

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
市民						
市人口	人	120,018	119,348	118,450	117,706	116,982

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
啓発活動を通して男女共同参画に対する理解を深めてもらう。						
男女共同参画講演会、研修会延べ参加者数	人	657	1,403	522	129	169
講演会等がよかったと答えた人の割合	%	93.4	93.5	91.7	—	100.0

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
男女共同参画の理解を深めている。						
男女の役割は固定せず、男女どちらが仕事をしても家庭にいても良いと考えている市民の割合	%	41.6	41.0	49.8	50.5	56.4

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(実績)		R3年度(実績)	
			金額	千円	金額	千円	金額	千円	金額	千円	金額	千円
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円						144				
	一般財源	千円	114	108	605						209	
	事業費計(A)	千円	114	108	605	144					209	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償金	0	報償金	5	報償金	0	報償金	0	報償金	11
			報償物資費	36	報償物資費	35	報償物資費	35	報償物資費	32	報償物資費	36
			費用弁償	4	消耗品費	7	消耗品費	65	消耗品費	0	消耗品費	8
消耗品費			7	印刷製本費	61	印刷製本費	506	印刷製本費	111	印刷製本費	154	
印刷製本費			67									
正規職員従事人数	人	3	3	3	2							
のべ業務時間	時間	440	440	440	440							
人件費計(B)	千円	1,679	1,681	1,679	1,600					0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,793	1,789	2,284	1,744					209		

B表(事後評価シート)

事務事業名	男女共同参画啓発事業	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	担当係	男女共同参画係
-------	------------	-----	-------	-----	------------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	国及び県において、男女共同参画に関する制度が整備されてきたことに伴い、平成12年度より女性関連事務事業から男女共同参画啓発事業となる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国においては、平成27年に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」、平成30年に「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」を制定し、女性のあらゆる分野での活躍を推進している。県においても、平成28年に企業や団体との連携による「とちぎ女性活躍推進プロジェクト」を立ち上げ女性の活躍を推進している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	固定的な性別役割分担意識などを早急に解消し、男女共同参画社会の理念が市民に深く浸透するよう、あらゆる機会を活用して意識啓発を行うことが求められている。

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	男女共同参画プラン(第3期)に基づき様々な施策に取り組んでおり、男女共同参画の啓発に係る講座や研修会等について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人を集めて行う場合は中止したのもあるが、感染状況が比較的落ち着いた時期には感染防止対策を講じて開催、また、オンラインにより開催したのもあった。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	啓発事業を実施することにより、男女共同参画について考える機会が提供でき、さらなる気づきが得られるなど、「男女共同参画社会の実現」という政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	国において、男女共同参画社会の実現は緊急かつ重要な課題とされており、自治体においても同様の取り組みが求められているため、市が中心となって市民、事業者や市民団体と協働して男女共同参画に関する事業を行う必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市民一人ひとりに男女共同参画の理念を理解してもらい、男女共同参画社会の実現にむけた活動に取り組んでもらうことが必要である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	男女共同参画の推進には様々な立場や年代の人たちに理解してもらい、啓発内容や情報提供の方法などを工夫することにより、成果向上が期待できる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	男女共同参画の意識づくりの推進のための事務事業は他にはない。
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	啓発の内容を充実させるための最小限の経費であるため削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	市民に広く男女共同参画について理解してもらうための事業であり負担を求めない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	男女共同参画社会が実現するまで、事業は継続する。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 第3期プランに基づき取組を推進するとともに、効果的な啓発方法を研究する必要がある。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	男性中心の社会や職場での慣行がいまだ根強いこと、特に会社や地域の団体、家庭における意識改革を強く促していかなければならない。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		男女共同参画ネットワークさの支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	7 市民参加による自立したまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	男女共同参画係	担当課長名	鈴木弘子	
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 男女共同参画の意識づくりの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
予算科目	2073	一般	2	1	16	男女共同参画ネットワークさの支援事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H11年度～ 年度			根拠法令 条例等	佐野市男女共同参画推進条例 佐野市男女共同参画推進団体活動支援事業補助金交付要綱				
							実施方法		一部委託		
						事業分類		支援事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長市政公約					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和3年度実績(令和3年度に行った主な活動内容)						
男女共同参画ネットワークさのに補助金を交付している。 また、ネットワークさのと共催で講演会を開催、及び、団体主催の会議や研修会の開催を支援することで、男女共同参画社会の実現を市民(団体)との協働により取り組んでいる。		【市の活動】男女共同参画ネットワークさのに補助金を交付、代表者会議(12回実施)におけるアドバイス、男女共同参画講演会(オンライン) 【会の活動】総会(5/27)、代表者会議(12回実施、うち3回はオンライン開催)、男女共同参画講演会(オンライン)、市各種審議会等へ委員を派遣 *とちぎ県民のつどい、ハートフルフェスタ、男女共同参画フォーラムについては、参加する予定だったが、感染症拡大防止のため中止						
* 男女共同参画ネットワークさの…市内の男女共同参画を推進する団体等の連合体であり、男女共同参画社会の実現をめざし活動している。		活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
		補助団体数	団体	1	1	1	1	1

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

男女共同参画ネットワークさの	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
	補助対象団体数	団体	1	1	1	1	1

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	男女共同参画ネットワークさのの円滑な運営と財政の健全化を図る。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
		支出割合(支出決算額/収入決算額)	%	99.9	100	22.0	40.5	88.1

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

男女共同参画の理解を深めている。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
	男女共同参画講演会、研修会延べ参加者数	人	657	1,403	522	129	164

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(実績)		R3年度(実績)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	430		430		64		156		346	
	事業費計(A)	千円	430		430		64		156		346	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	430	補助金	430	補助金	64	補助金	156	補助金	346
	人件費	人	3		3		3		2		2	
のべ業務時間	時間	400		400		300		400		400		
人件費計(B)	千円	1,526		1,528		1,145		1,455		1,454		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,956		1,958		1,209		1,611		1,800		

事務事業名	男女共同参画ネットワークさの支援事業	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	担当係	男女共同参画係
-------	--------------------	-----	-------	-----	------------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成11年に旧田沼町において「パルティングためま」が、平成13年に旧佐野市において「佐野市女性団体連絡協議会」が、平成15年に旧葛生町において「葛生町女性団体連絡協議会」が設立され、各市町で支援が始まった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国においては、平成27年に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」を制定、女性の採用や登用、指導的地位への人材育成を推進している。また平成30年に「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」を制定、政治分野における男女共同参画を積極的に推進している。県においても、平成28年に企業や団体との連携による「とちぎ女性活躍推進プロジェクト」を立ち上げ女性の活躍を推進している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	団体の事業や目指す形について、市と継続的な協議を行いたい。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	日本女性会議の準備において実行委員及び運営委員として活動することにより、各種団体や市民と幅広く協働を行うことで、自らの団体活動に活かそうとしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により活動が制限された。しかし、新たにオンラインによる代表者会や講演会を開催するなど、コロナ禍でも可能な方法を検討し実施した。また、感染状況が比較的落ち着いた時期は、感染防止対策を講じて、講座や代表者会を実施した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	男女共同参画の推進は市だけではなく、市民(団体)と協働することが必要であるため、団体の支援は政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	男女共同参画社会の実現は、国において緊急かつ重要な課題とされ、国及び自治体が行き届くこととなっているため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	男女共同参画社会の実現を目指す団体への活動支援であり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	本市における男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画ネットワークさの果たす役割は重要である。団体の更なる活動活性化のため事業改善が必要である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	男女共同参画社会の実現を目指す団体に対し支援する事業は他にない。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は団体への補助金のみであり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	活動支援という内容であり、受益者負担にはなじまない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	本市における男女共同参画社会の実現のための官民による事業のため、廃止(休止)することはできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 市と団体との協議を進め、団体活動のさらなる活性化や有効化を図る。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインによる男女共同参画講演会や団体内部の会議を開催するなど、新たな手法を取り入れた。今後も、感染状況等に合わせた柔軟な対応を行う必要がある。また、既存の事業も目的の見直しややり方の改善を検討するとともに、時代に即した新たな事業展開を図る必要がある。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		男女共同参画審議会運営事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)					
政策体系	基本目標	7 市民参加による自立したまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課				
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	男女共同参画係	担当課長名	鈴木弘子					
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業						
	基本事業	2 男女共同参画の意識づくりの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業						
	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
予算科目	2078	一般	2	1	16	男女共同参画審議会運営事業					任意的事業・義務的事业		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H13年度～ 年度			根拠法令 条例等	佐野市男女共同参画推進条例 佐野市男女共同参画審議会規則					実施方法		直営	
												事業分類		審議会・協議会等運営事業	
												リーディングプロジェクト		該当なし	
												市長市政公約			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和3年度実績(令和3年度に行った主な活動内容)					
市長の求めに応じ、佐野市における男女共同参画社会づくりについて、幅広い意見や専門的意見を聴くために、審議会を開催する。		〔活動内容〕 ・第1回審議会の開催(10/8)：男女共同参画プラン(第3期) 令和2年度事業実績及び令和3年度事業計画、女性活躍推進協議会					
活動指標		単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
会議の開催延べ回数		回	1	1	2	1	1

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

男女共同参画審議会委員		対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
		委員数	人	15	15	15	15	15

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的 調査・審議事項に対し意見を述べてもらう。		成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
		調査・審議事項数	件	1	1	2	2	1

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

男女共同参画の理解を深めている。		上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
		男女共同参画講演会、研修会延べ参加者数	人	657	1,403	522	129	164

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(実績)		R3年度(実績)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	91		91		99		91		76	
	事業費計(A)	千円	91		91		99		91		76	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			委員報酬	91	委員報酬	91	委員報酬	99	委員報酬	91	委員報酬	76
人件費	人	3		3		3		2		2		
のべ業務時間	時間	100		100		100		110		100		
人件費計(B)	千円	382		382		382		400		364		
トータルコスト(A)+(B)	千円	473		473		481		491		440		

事務事業名	男女共同参画審議会運営事業	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	担当係	男女共同参画係
-------	---------------	-----	-------	-----	------------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	佐野市における男女共同参画に関する計画(プラン)を策定するにあたり、平成13年8月に佐野市男女共同参画推進懇話会設置要綱を制定した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	栃木県において、男女共同参画に関する条例が平成14年12月に制定、審議会が設置され、近隣の足利市、栃木市及び小山市においても条例が制定された。佐野市においては、平成18年7月に佐野市男女共同参画推進条例が施行され、佐野市男女共同参画審議会が設置された。 令和2年度には、女性活躍推進計画の取組を審議してもらうため、男女共同参画審議会を女性活躍推進法に基づく協議会にも位置づける審議を行い、令和3年度より運用している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成29年度審議会で「審議会委員の女性登用について、男女別の公募委員の数を意識して取り組んでいただきたい。」と委員からの意見があった。令和2年度の委員改選の際、公募により委員を募集し、女性2名の応募があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	行政の男女共同参画に関する施策について審議することにより、その内容がより適したものに改善されることになり、男女共同参画活動の支援と推進体制の整備に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	佐野市男女共同参画審議会は、幅広い視点や専門的意見を、市の男女共同参画に関する施策に反映させるため設置されたものであり、市が行うことは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	佐野市男女共同参画審議会は、幅広い視点や専門的意見を、市の男女共同参画に関する施策に反映させるため設置されたものであり、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	市の男女共同参画に関する施策に対する市民による審議体制であるため、現状の体制及びやり方が最良の方法である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	佐野市男女共同参画審議会は、幅広い視点や専門的な意見を、市の男女共同参画に関する施策に反映させるため設置されたものであるため他にはない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	委員報酬は定額のため、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	市の施策について意見を聴取するものであり、受益者負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		本市における男女共同参画の推進が不要となった時に終了する。

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		男女共同参画相談事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	7 市民参加による自立したまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	男女共同参画係	担当課長名	鈴木弘子		
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	2 男女共同参画の意識づくりの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	2079	一般	2	1	16	男女共同参画相談事業						
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H19年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市男女共同参画推進 条例						
						市単独事業・国県補助事業		市単独事業				
						任意的事業・義務的事業		任意的事業				
						実施方法		一部委託				
						事業分類		相談事業				
						リーディングプロジェクト		該当なし				
						市長市政公約						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		令和3年度実績(令和3年度に行った主な活動内容)						
佐野市男女共同参画推進条例にある、男女共同参画の推進を阻害する行為(家庭内暴力、DV、性差別など)に関する相談に適切に対応するため、専門の相談員による相談を行う。		〔活動内容〕 ・女性のためのカウンセリング相談: 相談件数38件 ・女性相談: 相談件数8件						
1 女性のためのカウンセリング相談 ・DV被害者の支援を行っている「認定NPO法人ウイメンズハウスとちぎ」の女性カウンセラーによる相談 ・相談日は毎月第1・第3木曜日、予約制。相談時間1人50分 第1木曜日は3枠、第3木曜日は2枠		活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
		相談件数	件	33	31	43	49	46
2 女性相談 ・家庭児童相談課の女性相談員による相談 ・相談日は毎月第4木曜日(月1回)								

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

女性市民	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
	女性市民数 (住民基本台帳 4/i現在)	人	60,754	60,309	59,724	59,273	58,844

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	自立して、安心、安全な生活ができるようになる。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
		相談者数/女性市民人口	%	0.05	0.05	0.07	0.08	0.08
		「きてよかった」と答えた件数/アンケート回答相談者数	%	100	100	100	100	100

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

男女共同参画の理解を深めている。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)
	男女共同参画相談窓口延べ開設時間数	時間	126	126	126	121	115

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(実績)		R3年度(実績)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	515		515		515		515		515	
	事業費計(A)	千円	515		515		515		515		515	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			業務委託料 負担金	315 200	業務委託料 負担金	315 200	業務委託料 負担金	315 200	業務委託料 負担金	315 200	業務委託料 負担金	315 200
	人件費	人	3		3		3		2		2	
のべ業務時間	時間	140		140		140		160		160		
人件費計(B)	千円	534		535		534		582		582		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,049		1,050		1,049		1,097		1,097		

事務事業名	男女共同参画相談事業	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	担当係	男女共同参画係
-------	------------	-----	-------	-----	------------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成18年の佐野市男女共同参画推進条例制定に伴い、平成19年度より女性のためのカウンセリング相談を開始した。また、平成21年度の佐野市男女共同参画推進センター開館に伴い女性相談を開始した。平成28年度にセンターを移転したが、両相談とも継続して実施している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	ドメスティックバイオレンス(DV)やセクシュアルハラスメント(セクハラ)については、配偶者暴力防止法や男女雇用機会均等法が改正され、暴力や被害者の対象範囲が拡大されているが、未だ社会の理解が不十分であり潜在化している被害も多い。同様の相談は、県(パルティ、健康福祉センター)、配偶者暴力支援センター、県内14市の福祉事務所等で実施している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	カウンセリング相談については、午後の時間帯の希望者に対し、第1木曜日の午後を1枠増やしたので、相談しやすくなったとの意見がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	女性の悩み等の相談事業は、人権侵害や男女共同参画社会の実現を阻害する要因に対処し、被害者の自立支援に繋がり、社会の様々な活動に参画できることに結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	佐野市男女共同参画推進条例に規定されている相談の申出に対応するものであり、市が行う必要がある。
有効性 評価	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	男女共同参画社会の実現を目指すためには、女性の社会参加や自立を阻害する要因に対処するための相談事業を実施する必要があるため、対象と意図は妥当である。
	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	これまでの事業結果等より、相談事業の内容等は現状において最良の方法である。
効率性 評価	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案	類似事務事業名 婦人保護事業(家庭児童相談課) 女性のためのカウンセリング相談は専門職への委託事業である。女性相談は家庭児童相談課との連携により実施している。 * 類似事務事業があれば、名称を記入
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費については、ウイメンズハウスとちぎの相談委託料と負担金のみであり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	男女共同参画を阻害する要因に対処するための事業であり、困難な状況にある市民に対し、受益者負担はなじまない。
	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	今後、女性の社会進出が進むことによりますます需要は増えるものと考えられるため、廃止・休止はないと思われる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
低下		×	×																				
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 																							